

# 新型コロナウイルス感染予防の行動マニュアル

現在、日本を含め世界中で新型コロナウイルスによる感染被害が拡大しています。もし社内でも感染者が発生した場合、社内の消毒だけでなく、濃厚接触者の一定期間自宅待機など、業務への相応の影響が予想されます。こうした背景から、自分の体調管理だけでなく、周囲に迷惑をかけないように、日頃からの感染予防の心掛けが非常に重要です。

## 1. 手洗い・うがいの励行

トイレなど屋内では石鹸による手洗いを行って下さい。アルコール消毒液の供給不安もあり、備蓄量が限定されていますので、屋内は石鹸を基本にして下さい。一方、屋外からのアクセスポイント（通用路や、建物入口の自動ドア、エレベーター入口等）はアルコール消毒液を使って下さい。

## 2. 検温

出社前に必ず体温を確認してください。発熱状態で出社し、万が一コロナウイルスに感染していたら、職場の者にうつす可能性があり、非常に危険です。

## 3. 外出

できる限り人混みの多い混雑した場所を避けて下さい。特に、1.換気の悪い密閉空間、2.人が密集している、3.近距離での会話や発生が行われる、という3条件が同時に重なった場所に集団で集まることは避けてください。

## 4. 通勤

公共交通機関による通勤者はマスクを着用し、混雑した車両・時間帯は避けるよう努めてください。

## 5. 睡眠

十分な睡眠をとり、免疫を上げることも重要です。

## 6. 咳エチケット

マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及びそれらに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ上で高い効果があります。咳やくしゃみ等、症状のある者は積極的にマスクを着用して下さい。また、ご自身の予防用にマスクを着用することは、混み合った場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所での感染予防策になります。

## 7. 職場の消毒

職場に感染者もしくは感染（疑念）者が発生した場合、消毒液の製作から作業の実施までを、コロナ消毒マニュアルに沿って実施して下さい。

### <重要>消毒の考え方

感染（疑念）者自身の机、椅子、そのフロアのトイレとドアノブ、階段手摺り、エレベーターのボタンを消毒対象とします。ただし、その他のフロアなどについても必要に応じて消毒対象とします。